

# 史上最強の家畜伝染病・牛疫の清浄性維持に貢献

- ・牛疫は2011年に世界的な撲滅が宣言された家畜の悪性伝染病です。
- ・国連および国際獣疫事務局(OIE)を中心に再発に備えた国際的な対応計画が策定されています。
- ・不測の事態に備えた牛疫根絶後の清浄性維持に貢献します。



- ★牛疫は牛疫ウイルスを原因とする反すう獣の悪性家畜伝染病で、致死率100%に至ることもある畜産業最大の脅威です。
- ★日本では、明治維新以降、断続的な流行を見ましたが、検疫制度の確立、ワクチンの実用化などによって、1922年までに清浄化されました。
- ★戦後、日本が樹立したワクチン株を用いてアジア諸州で根絶が進みました。また国連を中心にアフリカや中東で展開された撲滅キャンペーンによって、2011年に世界的な撲滅が宣言されました。

★農研機構動物衛生研究部門(旧農林水産省家畜衛生試験場)が樹立した現行のワクチン株である赤穂(あこう)株は、本病に高感受性の黒毛和牛を含め、世界中の牛に使える安全なワクチン株です。



★赤穂株は、世界標準の牛疫ワクチン製造株としてOIEマニュアルに収録され、不測の事態に備えた世界の牛疫対応計画の重要なツールとして期待されています。



☎ 詳しい情報を知りたい、という方はお気軽にご連絡ください。

(国研)農研機構 動物衛生研究部門 企画連携室

TEL:029-838-7937

FAX:029-838-7907

Email: xx145116@affrc.go.jp